

おとなりさん

小田原

リニューアル創刊準備号
FREE

THE PAPER

ODAWARA OTONARISAN 2014年(平成26年)5月1日発行

発行 おとなりさん編集室 〒250-0034 神奈川県小田原市板橋923 電話0465-20-7745

小さなおでかけ。



漁師町の伝統 おしんこ祭り

万年●万年公民館 浜町



みんなで搗いたお餅を
龍宮さんと、
お稲荷さんにお供え。

はじまりは 江戸時代

朝8時半、朝日の射し込む万年公民館に、盛り塩で清められた杵と臼が準備される。

「おしんこ」とは、お漬け物のことではなく、上新粉をお湯で練ったお団子と餅米を蒸し、杵でついたお菓子のこと。よもぎを混ぜて、中にあんこをつつむ。

かつて漁師町だった古新宿(こしんしゆく)では、今から190年以上前、遠洋で捕獲したマグロからコレラが蔓延し村民の3分の1が亡くなり、その際大山阿夫利神社の石尊様に「おしんこ」と「神酒」を持参して疫病退散の祈願をしたのが、おしんこ祭りの始まりと伝えられている。女性が粉を練り、餅米と一緒に蒸したものを、男性が順番に交代で搗いていく。

出来上がったら、漁師町の神様である龍宮神社と、地元の「上若稲荷」にお供えて、残りは自治会の全世帯で分ける。配られるおしんこの掛け紙には、伝統が絶えぬよう祭りの由来が書かれて、伝えられている。



とても優しく、いろいろと親切に教えていただいた岩本自治会長。乾杯のあいさつで、「今日は年度の最後の行事。無事に終わり、取材まで入って、とっても良い日であります。」と書いていただきました。ごちこそ、ご協力ありがとうございました！